

公益財団法人 茨城県国際交流協会

事業名	茨城県留学生親善大使交流事業、及び防災に係る支援						
実施期間	2015年5月～2016年1月						
場所	茨城県内小中高等学校、特別支援学校、及び生涯学習関連施設等						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	222	7554	10	49	8	131	7,974 名

<実施内容>

公益財団法人茨城県国際交流協会では、県内の留学生を「茨城県留学生親善大使」として任命し、学校の授業や国際理解講座の講師として派遣しています。(ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業)また、同親善大使が茨城県への理解を深めてもらうことを目的として県内の企業、施設等を巡るバスツアーによる研修を実施したり、茨城県総合防災訓練に参加し、避難、初期消火、応急手当、等、実戦的な訓練を受けたりしています。

本事業の主軸であるワールドキャラバン事業とは、外国人講師が母国の生活習慣、衣食住、学校生活などを紹介し国際理解を深める事業です。派遣先の多くは、小学校、中学校、高等学校で、今年度は95件の派遣を行う予定です。

子供たちはその国の文化を外国人講師から直接学ぶことができ、写真や国旗、民芸品、民族衣装などを通して外国を身近に感じることができます。活動は様々で、なかには母国の料理を紹介して一緒に作ったり、その国の子供たちの遊びや歌、ダンスなどを教えてもらい、一緒に体を動かしたりもします。子供たちも講師の国について事前に調べたり、講師の話を聞いて疑問に思ったことを質問したりすることで、より有意義な時間を過ごすことができます。

また、子供たちから講師へ、学校の様子や日本の文化を紹介することもあります。留学生にとっては、日本の学校を訪問し、子供たちの学校生活を実際に見たり、一緒に給食を食べたりして触れ合うことは良い経験です。ワールドキャラバンは、お互いの文化に直接触れ合う貴重な機会となっています。

<参加者からのコメント>

レ ヴァン タンさん(ベトナム)/Le Van Thanh

最初は、女子高校はどんな感じなのか分からなくて、怖がりながらすごく緊張しましたが、話しかけたら緊張などが全てなくなり、とても楽しい交流会が出来ました。そして、生徒の皆さんに色々良い評価して頂き、僕にとって人生の初めての授業は深い意味を持ちました。本当に嬉しいです。そんなにも生徒の皆さんが喜んでくれるとは思わなかったです。たくさん良い印象が残っています。一生忘れられません。茨城県国際交流協会、そして大成女子高等学校のみなさん、このような機会を作って頂き、本当にありがとうございました。(大成女子高等学校派遣)

アヌグラ ビンタン フェビリアネさん(インドネシア)/Anugrah Bintang Febriane

子供たちとの交流を通じて、私は日本の教育を学ぶことができました。皆さんはとても自立した性格を持っていて、礼儀が正しくて、元気で頑張っている様子でした。インドネシアに帰ったら、日本のような教育をインドネシアでもできるようにしていきたいと思っています。また、思っていたよりも子供たちがインドネシアのことを好きになってくれたようで、嬉しかったです。子供たちの手紙には、音楽の授業でもう一度インドネシアの「ケチャック」を聞いて、インドネシアがもっと身近になった、という言葉があり、印象に残ったようでとても感激しました。(日立市立大久保小学校派遣)